

2023年2月16日

報道関係各位

ファーマエッセンシアジャパン株式会社

ファーマエッセンシアジャパン、営業体制の構築完了
— 新規の長時間作用型モノペグ化プロリンインターフェロン
Ropeginterferon alfa-2b (P1101)の発売にむけて日本における製造販売体制を構築 —

アジア発のグローバル・バイオフーマ、PharmaEssentia Corporation(本社:台湾台北、創業者兼最高経営責任者 林 國鐘、以下 PharmaEssentia)の日本法人であるファーマエッセンシアジャパン株式会社(本社:東京、代表取締役社長:米津克也、以下ファーマエッセンシアジャパン)は、昨年4月27日に厚生労働省に製造販売承認申請を行いました真性多血症(PV)治療薬、Ropeginterferon alfa-2b (P1101)の情報提供活動開始を見据え、2月1日より営業体制を構築し、このたび販売体制を整えましたことをお知らせします。

ファーマエッセンシアジャパンは、『Better Science, Better Lives』をカンパニービジョンに掲げるバイオテックカンパニーとして、永遠に患者ファーストであり続けながら、成長を続ける企業を目指し2017年に設立されました。このたび、日本での初めての製品の上市に向けてコマーシャル本部(本部長:鈴木幸也)内に東日本営業部、西日本営業部、オンライン専任コミュニケーターを置き、製造販売承認を取得後、全国の血液領域疾患の治療に尽力されている先生方に向け、情報提供活動を行ってまいります。またお客様窓口として「医薬品情報センター」を2月28日より稼働いたします。

ファーマエッセンシアジャパン株式会社代表取締役社長米津克也は次のように述べています。「Ropeginterferon alfa-2b (P1101)は、PharmaEssentiaが開発した革新的な“部位選択的モノペグ化技術”プラットフォームによって生み出された最初の製品であり、その製品を待ちわびている医師、患者の皆様へ一日でも早くお届けできるよう尽力して参ります。社員一同、真の患者志向を常に胸に刻み、活動して参る所存です。」

Ropeginterferon alfa-2b (P1101)は、新規の長時間作用型モノペグ化プロリンインターフェロンであり、薬物動態の特性が改善したことにより従来のペグ化インターフェロンからさらに投与間隔を延長できることが期待されています。Ropeginterferon alfa-2b (P1101)は、米国において真性多血症(PV)の治療薬として希少疾病用医薬品に指定され、2021年にはアメリカ食品医薬品局(FDA)にて承認され、販売されています。

ファーマエッセンシアジャパン株式会社について

ファーマエッセンシアジャパン株式会社は、台北に本社を置く PharmaEssentia Corporation の 日本法人として 2017 年に設立されました。昨今の急速な創薬技術の発展は、多くの画期的な新規治療薬を生み出しましたが、医療現場では“真の治療ゴール”を満たしていない疾患領域が未だ存在しています。ファーマエッセンシアジャパンが目指すのは、このような未だ満たされていない“真の治療ゴール”の達成です。バイオアベイラビリティや忍容性の問題により、今まで十分にそのポテンシャルを発揮できなかった治療薬を、自社のコアテクノロジーである“部位選択的ペグ化技術”プラットフォームを応用してアンメット・メディカル・ニーズを満たすことを目指しています。日本においては、主に血液疾患領域および皮膚科領域を重点領域として、日本の医療および患者さんへのさらなる貢献を果たすべく活動しています。

詳細については、<https://jp.pharmaessentia.com/> をご覧ください。

本ニュースリリースに記載されている医薬品情報は、当社の経営情報の開示を目的とするものであり、開発中のものを含むいかなる医薬品の宣伝、広告を目的とするものではありません。

以上

ファーマエッセンシアジャパン株式会社 会社概要

代表取締役社長： 米津 克也

所在地： 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-3-13 赤坂センタービル 12 階

電話： 03-6910-5103

FAX： 03-6910-5109

URL： <https://jp.pharmaessentia.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

ファーマエッセンシアジャパン株式会社

コーポレートコミュニケーション担当

可児 尚子 Kani, Hisako

e-mail: hisako_kani@pharmaessentia.com

電話: 080-4475-5320